

評価結果報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	<u>11</u>
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	<u>2</u>
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	<u>6</u>
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	<u>11</u>
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	<u>30</u>

事業所番号	3972100444
法人名	医療法人 岩河会
事業所名	グループホーム びらふ
訪問調査日	平成20年12月18日
評価確定日	平成21年2月25日
評価機関名	社会福祉法人 高知県社会福祉協議会

○項目番号について

外部評価は30項目です。

「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。

「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。

番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

○記入方法

[取り組みの事実]

ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。

[取り組みを期待したい項目]

確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に○をつけています。

[取り組みを期待したい内容]

「取り組みを期待したい項目」で○をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者（経営者と同義）を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

事業所番号	3972100444
法人名	医療法人 岩河会
事業所名	グループホーム びらふ
所在地 (電話番号)	高知県香美市香北町美良布1298 (電話) 0887-59-2389

評価機関名	社会福祉法人 高知県社会福祉協議会		
所在地	高知市朝倉戊375-1高知県立ふくし交流プラザ内		
訪問調査日	平成20年12月18日	評価確定日	平成21年2月25日

【情報提供票より】(平成20年11月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成16年12月1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	15 人	常勤 12人、非常勤 3人、常勤換算 11.9人	

(2) 建物概要

建物形態	単独	新築
建物構造	鉄骨木造	
	2 階建ての	1 階 ~ 2 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	30,000~40,000 円	その他の経費(月額)	21,000 円
敷金	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	有/無
食材料費	朝食	300 円	昼食 おやつ
	夕食	400 円	
	または1日当たり		1,100円

(4) 利用者の概要(11月1日現在)

利用者人数	18 名	男性	1 名	女性	17 名
要介護1	1 名	要介護2	9 名		
要介護3	4 名	要介護4	2 名		
要介護5	0 名	要支援2	2 名		
年齢	平均 85.6 歳	最低	76 歳	最高	93 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	びらふ診療所、岩河整形外科、同仁病院、高橋歯科医院、佐々木歯科診療所
---------	------------------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

緑豊かな山々に囲まれ、近くにはスーパー、道の駅、商店街があり、敷地内にはケアハウスと診療所が併設され、静かな中にも便利な環境下にある事業所である。昼食時に利用者が「このお姉さんはみんな優しい。ここに来て良かった。」と楽しそうに話していたのが印象的で、管理者をはじめ職員が利用者に寄り添い、家庭的な心配りができている所以だと思われた。また、運営者が医師であり、いつでも直ぐ連絡が取れる事、ケアハウスの看護師とも常に連携が取れている事が、利用者や家族、職員にも安心感を与えている。事業所内の飾りつけも、大正5年~昭和25年迄の物部地区の歴史を掲示し、壁に貼った四国地図に利用者の足跡を記録し、風船に紙を貼ってサンタクロースや雪ダルマを作るなど、暖かい雰囲気が見られる。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回評価で見出された主な課題のうち、「同業者との交流」、「チームでつくる利用者本位の介護計画の作成」「重度化や終末期の対応」等は改善されているが、「評価の意義の理解と活用」、「運営に関する家族等意見の反映」、「災害対策」等改善されていない課題も残っており、更なる取り組みを期待したい。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	事前にサービス評価について職員に伝え、全職員で話し合い、自己評価に取り組んでいる。運営者にも報告している。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	事業所から行事報告、参加メンバーから質問や意見が出され、双方向的な会議となっているが、自己評価の内容及び外部評価の結果や改善課題の取り組み状況が報告されていない。運営推進会議と評価を結びつけ、サービスの質の向上を図ることを期待したい。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	家族会は年4回開催されているが、事業所の行事に合わせて行っており、家族同士がゆっくり話し合えるような機会にはなっていない。従って、意見や苦情はほとんど寄せられていない。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	町内会には加入していないが、運営推進会議のメンバーである地区長や民生委員と連携を取り、地区の夏祭り、敬老会、福祉体育大会等に参加するなど、地域との交流は密である。また、体験学習として地域の中学生2名を毎年2日間受け入れている。

2. 評価結果（詳細）

（ 部分は重点項目です ）

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	<input checked="" type="checkbox"/> 地域密着型サービスとして、独自に作り上げられた理念がある。 「地域の一員となって生活が送れるように」支援していくという、地域密着型サービスとしての独自の理念がある。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> 理念について職員間で話し合いの機会をもち、意識づけがされている。 月1回のユニット会、3カ月に1回の合同会議で話し合い、職員同士でも日々確認しあって意識づけをしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 日々のサービスの提供場面(言葉かけ、態度、記録等)において、理念が反映されている。 共に生きている喜びを感じることができるよう、命令口調にならないよう気を付け、優しい言葉がけをしている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	<input type="checkbox"/> 地域住民の一員として、町会、自治会等に参加している。 町内会には加入していない。 <input checked="" type="checkbox"/> リサイクル活動や行事など地域活動の情報を集め、それらに参加するなど、接点を持つ努力をしている。 運営推進会議のメンバーである地区長や民生委員から情報を得て、地域の敬老会、夏祭り、いきいき教室、福祉体育大会に参加し、地元との交流を図っている。	○	運営推進会議のメンバーからの情報収集等により地域との交流を図っているが、更に、地域で暮らす地域住民の一員として、地域での活動や役割を担うためにも、町内会に加入し、積極的な関わりを持つ事を期待したい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> サービス評価を実施するにあたり、評価の意義とねらいについて運営者、管理者、職員で話し合い、全員で自己評価に取り組んでいる。 事前にサービス評価について職員に伝え、全職員で話し合い、自己評価に取り組んでいる。運営者にも報告している。 <input type="checkbox"/> 評価で見出された課題について改善計画を立て、その実施に取り組んでいる。 評価で見出された課題の改善計画が一部しか作成されていない。	○	評価で見出された課題については、全項目改善計画を作成し、計画的に改善に向けて取り組む事が望まれる。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	<input checked="" type="checkbox"/> 会議では、事業所からの報告とともに参加メンバーから質問、意見、要望を受け、双方向的な会議となるよう配慮している。 事業所から行事報告、参加メンバーから意見や質問等があり、双方向的な会議になっている。 <input type="checkbox"/> 評価で明らかになった課題について会議で報告し、改善に向けて取り組んでいる。 自己評価の内容及び外部評価の結果や改善課題の取組み状況が報告されていない。	○	運営推進会議で、自己評価の内容及び外部評価の結果や改善課題の取組み状況について報告し、評価の取組みや評価後の改善への取組みをモニターしてもらうなど、運営推進会議と評価を結びつけてサービスの質の向上を図ることを期待したい。
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村職員の研修場所として事業所を活用してもらったり、また市町村担当窓口に対して、事業所の実情やケアサービスの取組みを折に触れて伝えるなど交流を図っている。 市の介護保険課、包括支援センターに学習会や地域活動等に関する課題を相談し、指導を受けるなど交流を図っている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 家族等の来訪時には声をかけ、利用者の状況や家族のことについて話し合っている。 家族来訪時には近況報告を行い、家族からの要望も聞いている。 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者の事業所での暮らしぶりやエピソードなど、手紙や写真等で伝えている。 広報誌「縁側便り」を3カ月に1回発行し、職員が手紙と写真を同封して近況を伝えている。 <input checked="" type="checkbox"/> 心身の状況について、何らかの変化や問題が起きた時に必ず報告している。 <input checked="" type="checkbox"/> 金銭について使途の確認や金銭出納帳等を明示し、その都度あるいは定期的に報告している。 請求書送付時に、金銭出納帳のコピーと領収書原本を同封し、家族来訪時に確認のサインを頂いている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<input type="checkbox"/> 家族会や家族同士の集まりの場で意見を出せるような仕組みを作っている。 事業所の行事に合わせて家族会は年4回開催しているが、家族同士で話し合う場面を作っていない。 <input checked="" type="checkbox"/> 苦情への対応で終わりではなく、その苦情の発生要因を探り、課題を検討し、質の向上をめざす取り組みをしている。 家族からの意見等はあまり出していないが、出た場合は個別に対応するとともに、結果をサービスの質の向上に反映させるようにしている。	○	家族はお世話になっているという気持ちから、率直な意見を言いづらい場合もあるので、家族同士が話しやすい場面作りをすることを期待したい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者にとって馴染みの職員が継続的に支える体制となっている。 法人間の異動はあるが、人数は最小限に抑え、引継期間も取り、馴染みの関係が継続するように努めている。 <input checked="" type="checkbox"/> 職員が代わる時は、引き継ぎの期間を十分に取り、スムーズに移行できるように配慮している。 引き継ぎ期間は10日程度取るようにし、スムーズに移行できるように配慮している。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<input checked="" type="checkbox"/> 日常的に学ぶことを推進し、パート職員にもチームの一員として、研修・会議等参加の機会がある。 パート職員も研修会に参加している。 <input checked="" type="checkbox"/> 全職員が共有できるよう、研修内容を報告する機会を作っている。 月1回のユニット会、3カ月に1回の全体会で報告している。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	<input checked="" type="checkbox"/> 県内、全国組織の同業者ネットワークに加入し、サービスや職員の質向上につなげている。 県内のグループホーム連絡協議会に加入している。 <input checked="" type="checkbox"/> 管理者・職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、職員のサービスや質向上に努めている。 2カ月に1回の東部ブロック(香美市、香南市)グループホーム連絡会に参加し、また、地域の同業者の研修会や勉強会に参加するなど、交流の機会を持ち、サービスの質の向上に努めている。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	<input checked="" type="checkbox"/> 入居希望者の入居に際し、その者の心身の状況、生活歴、病歴等の把握に努めるとともに、本人、家族等の意向も確認している。 本人や家族と面接し、状況及び意向の確認をしている。入院している入居希望者の場合は病院からも情報収集を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 本人や家族に事業所の見学や体験をしてもらっている。 <input checked="" type="checkbox"/> 入居希望者には、複数の職員が面接を行っている。 管理者と各ユニットリーダーで面接を行なっている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>日々の生活場面の中で、支援する側、される側という認識は持たず、お互いが協働しながら和やかな生活ができるような場面作りがある。</p> <p>洗濯物たたみ、掃除、料理の後片付け、食器洗い等、利用者の出来る事は手伝ってもらい、協働しながら和やかに生活している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>職員は利用者と共に暮らす者同士として、「哀しみ」、「不安」、「喜び」、「楽しみ」などの本人の思いを共感し、理解している。</p> <p>感情が高ぶったり辛そうな表情の利用者には、場所を移してゆっくり話を聞くなど、利用者の喜怒哀楽を共感し、理解するようにしている。</p>		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>一人ひとりの思い・暮らし方の希望・意向の把握に努めている。</p> <p>本を読むのが好きな人、ゆっくりテレビを見ていたい人など、日々の暮らしの中で利用者の言動から思いや暮らし方の希望等を把握し、本人の生活ベースを大切に支持している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>意思疎通が困難な方には、ご家族や関係者から情報を得るようにしている。</p> <p>家族からの情報提供、利用者の表情や言動からの推測などから、把握するようにしている。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>○チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>本人やご家族等からの気づき、意見、要望等を反映した介護計画が作成されている。</p> <p>本人や家族から要望等を確認し、介護計画に反映させている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>アセスメントを含め職員全員で意見交換やモニタリング、カンファレンスを行っている。</p> <p>職員全員でカンファレンスを行い、月1回モニタリングも行っている。</p>		
16	37	<p>○現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>介護計画は、設定された期間ごとに見直しをしている。</p> <p>短期3カ月、長期6カ月で見直しをしている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>ワンパターンの期間設定ではなく、本人、家族の要望や状態に変化が生じた場合には、その都度見直し、計画内容に応じた個別の期間設定をしている。</p> <p>状況変化に応じてカンファレンスを行ない、個別の期間設定をしている。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 医療機関と連携して、医療処置を受けながら事業所で生活が継続できるように努めている。 隣接の診療所と連携し、医療処置を受けながら事業所で生活が継続できるように努めている。 <input checked="" type="checkbox"/> 本人、家族の状況に応じて、通院や送迎、特別な外出、外泊などの支援を行っている。 かかりつけ医への受診や特別な外出は基本的に家族が対応しているが、困難な時は職員が支援している。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	<input checked="" type="checkbox"/> いままでのかかりつけ医や本人・家族等が希望する医療機関・医師に受診できる支援ができています。 本人や家族の意向に沿って支援している。 <input checked="" type="checkbox"/> 受診や通院は、本人やご家族の希望に応じて対応している。 <input checked="" type="checkbox"/> 受診結果に関する情報の共有ができています。 家族から受診結果を聞き、職員が対応した場合は報告して、情報を共有している。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	<input checked="" type="checkbox"/> 終末期の対応方針を定め、家族・医師・看護師を交えて話し合いを行っている。 看取りの指針を定め、看取介護計画書を作成し、状況の変化に応じて医師や家族と対応方針を話し合っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 本人や家族の意向を踏まえ、医師、職員が連携をとり、安心して納得した最期が迎えられるように取り組んでいる。 本人や家族の意向を踏まえ、法人の医師、かかりつけ医、看護師、職員が連携をとり、納得した最期が迎えられる体制を整えている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	<input checked="" type="checkbox"/> 人前であからさまに介護したり、誘導の声かけをして、本人を傷つけてしまわないように、目立たずさりげない言葉がけや対応に配慮している。 排泄誘導は耳元でそっと声かけするなど、本人を傷つけてしまわないように配慮している。 <input checked="" type="checkbox"/> 他の家族や外来者に対して、職員が利用者のプライバシーに関する話を話さないことを徹底している。 利用者のプライバシーに関する事は話さないように、全体会や各ユニット会で徹底している。 <input checked="" type="checkbox"/> 全ての職員が、個人情報保護法の理解に努め、徹底されている。 個人情報保護法の理解についても、全体会等を通じて全職員に徹底している。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりが「その日」にどのように過ごしたいかを把握し、それに応じて柔軟に支援している。 散歩、買い物、近くの神社へのお参りなど、一人ひとりの希望に沿った支援を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 事業所の業務スケジュールに利用者の生活を合わせていない。 一人ひとりのペースに合わせて支援している。		
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	<input checked="" type="checkbox"/> 献立づくりから調理、片付けに至るまで、食事に関する一連の流れを職員が一方的に進めるのではなく、利用者の意志や気持ちを大切に進めている。 料理の下ごしらえ、味付け、食器洗いなど、出来ることを手伝ってもらい、一緒に進めている。 <input checked="" type="checkbox"/> 職員は食事の介助にとどまらず、利用者と職員が同じものを一緒に食べている。 職員は利用者と一緒に、同じものを食べている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者のこれまでの生活習慣や希望にあわせて入浴できるよう、職員勤務体制等について工夫をしている。 毎日午後から利用者の希望にあわせて、2日に1回は入浴出来るようにしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 入浴を拒む人に対しては、言葉かけや対応の工夫、チームプレー等によって一人ひとりにあわせた入浴支援を行っている。 現在入浴を拒む利用者はいないが、拒む場合は、入浴の順番や場所(1階と2階)を変えるなど、工夫して対応することになっている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 何がその人の役割、楽しみごとになり得るかを把握し、食事作りや庭木の剪定など利用者の経験や知恵を発揮する場面を作っている。 裁縫の得意な人には雑巾や運動会用の鉢巻きを縫ってもらったり、料理の得意な人には干し芋や吊るし柿のコツを習ったりして、利用者の経験や知恵を発揮できる場面を作っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの役割、楽しみごと等を作り出すため働きかけを行っている。 畑仕事や編み物など、できることはしてもらい、役割や楽しみごとを作り出す働きかけをしている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 近くへの散歩だけではなく、その人の馴染みの店や場所へ出かけている。 美容院、スーパー、商店、道の駅等に出かけている。 <input checked="" type="checkbox"/> 歩行困難なケースでも、車や車いす等を利用し、戸外へ出ることを積極的に行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 日常的に散歩、買い物あるいはドライブ等に出かけている。 法人のバスで年3～4回、全員がドライブに出かけている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> 居室や日中玄関に鍵をかけていない。 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者一人ひとりの外出の習慣や傾向を把握して、対応している。 外出した時は後をついて行き、さりげなく見守っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 近所の人にも理解を求め、見守り、声かけや連絡をしてもらえる関係を築いている。 散歩コースにある近所の美容院、理髪店、スーパー、コンビニ等が顔馴染みであり、連絡がもらえる関係が出来ている。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	<input checked="" type="checkbox"/> 事業所だけの訓練ではなく、地域住民の参加、協力を得ながら避難訓練等を定期的実施している。 地区長も参加し、年2回避難訓練を実施している。 <input type="checkbox"/> 避難路の確保(整理整頓)や消火器等の設備点検を定期的に行うとともに、非常用食料・備品を準備している。 非常用食料、備品の準備ができていない。	○	非常時に備え、非常用食料、備品等の準備が求められる。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p><input type="checkbox"/>一人ひとりの一日の栄養摂取総量や水分量を把握している。 栄養摂取量のチェックはしているが、水分量は把握していない。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>一人ひとりの嗜好を把握し、献立に採り入れながら、栄養バランスにも配慮している。 好き嫌いを把握し、また、誕生月の利用者には何を食べたいかを聞いたりして、献立に反映している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>定期的に、栄養士や保健師等に専門的な観点からチェックしてもらっている。 法人の栄養士がチェックしている。</p>	○	水分の摂取不足等に対応するため、一人ひとりの摂取量をチェック表に記入して、職員全員で確認する事が望まれる。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>利用者にとって使いやすい配置や馴染みの物を採り入れた共用空間になっている。 リビングにはテーブルとイスを配置し、畳の間にはコタツを置き、くつろげる共用空間になっている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>天井や壁面に掛けられた折り紙等の飾り付けが、家庭的な雰囲気壊していない。 利用者が書いた書道や塗り絵、長寿の秘訣は「よく笑うこと」「よく動くこと」と書いた飾りなどを壁に飾り、家庭的な雰囲気壊していない。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>季節感のある装飾等に工夫するなど、季節感や五感の刺激にも配慮している。 クリスマスツリーを飾り、風船に紙を貼って作った雪だるまやサンタクロースを置き、季節感に配慮している。</p>		
30	83	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>使い慣れた馴染みの物を傍に置くなど、本人や家族と相談しながら個別に工夫している。 タンス、収納箱、家族の写真、好きな動物の写真、人形、塗り絵など、使い慣れた家具やお気に入りの物を持ち込み、工夫している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>家族の協力が得られない等の場合でも、本人の意向を確認しながら、その人らしく居心地のよい居室づくりに取り組んでいる。 家族には馴染みの物を持ってきてもらうよう何度もお願ひし、職員も本人の好みを把握して、居室づくりに取り組んでいる。</p>		